

平成27年5月4日

マナーキッズ講師養成講習会開会挨拶

本日は、第1回マナーキッズ講師養成講習会にご参加頂き誠にありがとうございます。
講師の先生方と受講者の皆様方のご紹介を兼ねてマナーキッズ講師養成講習会の趣旨をご説明します。

はじめに講師の先生方をご紹介します。

小笠原流礼法鈴木万亀子総師範です。本プロジェクトは、スポーツと日本の伝統的な礼法とのコラボレーションに特徴がありますが、鈴木万亀子総師範は、発足当初からご協力頂いており、鈴木万亀子総師範がおられなければ本プロジェクトは存在しないといっても過言ではありません。小笠原流惣領家32世忠統公に仕え、的伝総師範を賜っておられます。

根本正雄根本わくわく体操教室代表です。日本の体育教師の第一人者です。マナーキッズプロジェクトは、明石要一千葉敬愛短期大学学長のご提言で「マナーキッズ」調べが加わりましたが、明石先生のご紹介で根本先生とのご縁ができました。間野義之早稲田大学スポーツ科学学術院教授とのご縁でマナーキッズ体幹遊びも加わりましたが、その改訂版を作成して頂いており、近日中に完成します。

今井茂樹教諭東京学芸大学附属小学校教諭です。ネット型ゲーム「テニピン」の発案者です。マナーキッズテニス教室を小学校の授業で実施する場合は、外部指導者が20名程度必要ですが、体育授業として先生一人で実施できるものです。

私は、司会進行要領担当の田中日出男です。本プロジェクトの発案者です。

第1回マナーキッズ講師養成講習会は、非常に意義深いと考えております。といたしますのは、この講習会の成否が、マナーキッズプロジェクトは第二ステージに入ることが出来るかどうかの鍵を握っているからです。

本プロジェクトは、平成17年4月に公益財団法人日本テニス協会のプロジェクトとして発足しましたが、平成19年6月にNPO法人マナーキッズプロジェクトになり、昨年10月に公益社団法人マナーキッズプロジェクトに移行しました。今迄に47都道府県において1,034回開催し、127,400人の幼稚園・保育園園児、小学校児童が参加しております。34都道府県、312小学校他において授業として採用されております。

日本には、800数十万人の園児、児童がおります。それからみると微々たる数字です。

2020東京オリンピック・パラリンピックがあり、ソフトレガシー(ソフトの遺産)が産・官・学により検討されております。現在27テーマに絞られておりますが、その中の一つに「一校一交流運動」というのがあります。我々は、そのメンバーとして参画し、「ヘルス&マナーコミュニティ」を提言しております。1中学校区をモデルに幼稚園・保育園、小学校、中学校他においてマナーキッズ教室を開催し、マナー向上、健康増進、コミュニティ活性、災害への備え他の好環境を生むという内容です。

本日、教育委員会の方、小学校の先生、将来教員を目指す学生、テニススクールの指導者、マナーキッズ教室の司会進行されておられる方、地球の楽好のスタッフの方、マナーキッズプロジェクト正会員の方々に参加頂いております。

第二ステージの目標は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの目標を年100万人においております。71校×300人×47都道府県の計算です。

是非、本日もご参画の皆様方が皆様方の学校、地域でマナーキッズ教室を開催して頂き、その輪が全国各地に広がることを切望しております。

本日の講習会の内容は、別紙の通りです。全員に修了証書を差し上げます。認定状は実技の状況により判断します。

16世紀から19世紀にかけて、日本を訪れた外国人は、日本人の美しい立居振舞、礼儀正しい態度、節度ある態度に感嘆の声をあげたとのことです。

マナーキッズプロジェクトに12万人を超える幼稚園園児・小学校児童が参加しましたが、「子供は教えれば変わる 礼儀正しさの遺伝子は残っている」と確信しております。

次代を担う子供達が、将来、世界各国の人々から尊敬される日本人になるために、体幹を鍛え、腰骨の立った正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方を身に付けるべく子供達をご指導して頂ければ幸甚です。

本日のマナーキッズ講師養成講習会が皆様方にとりまして有意義になりますことを祈念して開会の挨拶とします。